

(1) 貸 借 対 照 表

エヌ・アール通商株式会社

(令和4年9月20日 現在)

(単位:円)

資 産 の 部	1,467,183,121	負 債 の 部	649,269,184
[流動資産]	216,685,383	[流動負債]	457,302,924
現金預金	210,415,720	買掛金	30,610,129
在庫商品	457,808	短期借入金	370,000,000
貯蔵品	1,106,505	1年内返済長期借入金	35,064,000
未収入金	3,926,666	未払金	20,002,068
前払金	522,720	預り金	1,556,727
前払費用	244,694	未払法人税等	70,000
立替金	11,270		
[固定資産]	1,250,497,738	[固定負債]	191,966,260
有形固定資産	232,440,562	長期借入金	170,976,000
建物	186,011,953	退職給付引当金	9,010,260
構築物	9,378,913	役員退職慰労引当金	11,980,000
機械装置	29,184,216		
車輛及運搬具	531,567	純 資 産 の 部	817,913,937
工具器具備品	7,333,913	[株主資本]	817,913,937
無形固定資産	578,934	[資本金]	10,000,000
ソフトウェア	578,934	[利益剰余金]	807,913,937
投資その他の資産	1,017,478,242	その他利益剰余金	
投資有価証券	1,009,284,425	別途積立金	700,000,000
敷金保証金	8,020,000	繰越利益剰余金	107,913,937
長期前払費用	173,817		
資産合計	1,467,183,121	負債・純資産合計	1,467,183,121

(2) 個別注記表

1. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

時価のない有価証券……………移動平均法による原価法

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・貯蔵品……………最終仕入原価法による原価法(収益性の低下による簿価の切り下げの方法)

(2) 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産

法人税法に基づく定額法によっています。

② 無形固定資産

法人税法に基づく定額法によっています。

(3) 引当金の計上基準

① 退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額により計上しています。

② 役員退職慰労引当金………役員の退職慰労金支給に備えるため、退職慰労金支給に関する規定に基づいて計上しております。

(4) 消費税等の会計処理方法……………税抜方式によっております。

2. 当期純利益

34,446,313 円